

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号 9
	令和 元年 11月 28日
	午前・午後 10時 0分

議会名	令和 元 年 第 4 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 13 番 横田 誠		
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 今後の災害対策について (1) 中小河川、用水路等について (2) 防災アプリの活用について	<p>①中小河川や用水路等の水位観測装置設置整備の考え方について伺います。</p> <p>①ハザードマップについて土砂災害区域、想定浸水深、避難所位置情報など、その理解と認識を深める重要性についての見解を伺います。</p> <p>②この度の被災を教訓とするために、それぞれの市民がハザードと感じた箇所を入力できる「ARハザードスコープ」のような防災アプリの活用は危機意識の醸成のみならず、危機的状況に直面した有事の際にも大いに効果を発揮するものと考えますが、その普及および活用についての見解を伺います。</p>		
2. 災害廃棄物について (1) 発生状況と処理について (2) 災害廃棄物の仮置場について	<p>①災害廃棄物の発生量の推計について伺います。</p> <p>②処理費用と処理目標期間について伺います。</p> <p>①災害廃棄物処理計画に基づき対応がなされているか伺います。</p> <p>②仮置場の環境汚染の最小化のため、火災発生や二次災害の防止措置の必要性について伺います。</p>		

<p>(3) 仮置場の原状復帰について</p> <p>3. 被災者生活再建支援に関する窓口のワンストップサービスについて</p>	<p>③仮置場において環境モニタリングを実施し、環境対策を講じるべきと考えるが当局の見解を伺います。</p> <p>①仮置場の土壌改善と原状復帰についての見解を伺います。</p> <p>①台風19号の被災者生活再建支援に関して、国や県によって多岐に亘る公的支援制度メニューが設けられていますが、市が実施・担当窓口となる公的支援制度の概要と、それら支援制度を被災者の方がどのように確認すればよいのか伺います。</p> <p>②多岐に亘る被災者生活再建支援に関する相談・各種申請手続きをワンストップサービスで提供できる窓口を設けることが、被災者に寄り添い、効果的且つ迅速な復旧・復興に資するものと考えますが、当局の見解とその対応について伺います。</p>
--	---